

ZEON

Corporate Profile 会社案内





化学の力で未来を今日にするZEON

独創的な技術でチャレンジを積み重ね、
社会の持続的発展と地球環境に貢献していきます

1950年の創業から間もなく70年、日本ゼオンは幾多の変遷を経て、大きな変貌を遂げてきました。企業理念は「大地の永遠と人類の繁栄に貢献するゼオン」。ギリシャ語の大地(ゼオ)と永遠(エオン)の造語からなる社名「ゼオン」の持つ大きな意味を私たちは企業理念に織り込みました。

事業に目を向けてみますと、C4留分から合成ゴムの原料となるブタジエンを抽出するプロセスであるGPB法は技術輸出のリーダーとして世界を席卷、技術のゼオンの橋頭堡を築きました。続いてイソプレン抽出法のGPI法は、C5留分の総合有効利用として世界でも唯一の総合展開を成し、そこから産まれる製品は高機能樹脂、光学フィルム、RIM配合液、熱可塑性エラストマー、合成香料と、枚挙にいとまがありません。この二つのプロセスを基軸に、エラストマー素材事業、高機能材料事業の両輪で事業展開を推し進め、化学工業界での特異な位置を築くに至りました。一方、世界各国での事業展開に積極的にチャレンジを続け国内外のグループ企業数は40社を超え、全従業員数は3,000名を超えるに至りました。

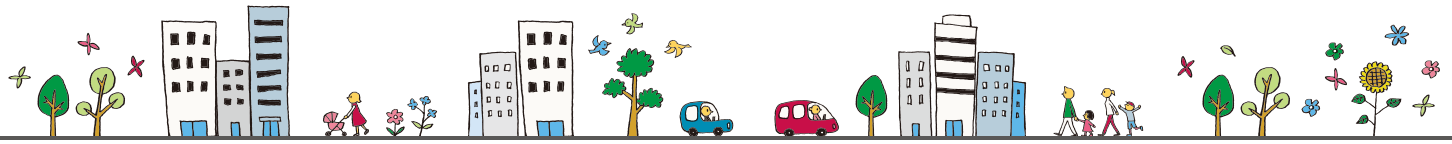
また、新しい事業展開としては、夢の素材といわれるカーボンナノチューブ(CNT)を、産業技術総合研究所(産総研)との研究により、世界初の量産化に成功。山口県徳山工場に製造プラントを竣工し、次の大型素材として大きく期待されております。ゼオンの歴史はイノベーションの歴史であり、これからも次の世代への持続的な発展を視野にグループ全員でチャレンジを続けていきます。ゼオンにぜひご期待ください。

代表取締役会長
古河 直純



代表取締役社長
田中 公章





[企業理念]

大地の永遠と人類の繁栄に貢献するゼオン

大地(ゼオ)と永遠(エオン)からなるゼオンの名にふさわしく、
世界に誇り得る独創的技術により、地球環境と人類の繁栄に貢献する。

[CSR基本方針]

- コンプライアンスを徹底し、社会の安全・安心に応える
- 企業活動を通じ、社会の持続的発展と地球環境に貢献する
- 一人ひとりがCSRを自覚し、行動する

当社グループは2011年に2020年を目指した経営計画「SZ-20」を策定し、Phase I、Phase IIと取り組んでまいりました。このほどPhase IIIとして2017年度から2020年度までの新中期経営計画を立案し、新たなチャレンジをスタートさせました。その根幹をなす「ビジョン」を策定し、2020年のありたい姿に向かい前進を続けます。

[ビジョン]

2020年のありたい姿

－ 化学の力で未来を今日にするZEON －

重要な価値観

- スピード
- 対話
- 社会貢献

大切にせるゼオンらしさ

- － 仲間との相互信頼 －

ZEONは地球環境に配慮した製品とサービスの組み合わせによるソリューションの提供を通じて、お客様の夢と快適な社会の実現に貢献し続けます。

わたしたちはその使命を果たすために、信頼のできる仲間、仲間に信頼される自分、という『**仲間との相互信頼**』に基づく明るく風通しの良いゼオンらしさを大切にしつつ、『**スピード**』『**対話**』『**社会貢献**』の3つを重要な価値観として行動します。

わたしたちはこの価値観に基づいた行動の実践によって、ZEONブランドが一味違う優れたものとして、世界中のお客様や社会に広く認知され、賞賛を受けていることに感謝と感動をしながら、胸を張って誇りに思える会社にしていきます。



「母なる大地から原料を得て製品を創り出し、
人類の繁栄に貢献すること」を理念に、
独創的な技術で社会貢献を目指します

会社概要

社名 日本ゼオン株式会社 (ZEON CORPORATION)
設立 1950年4月12日
資本金 242億1千1百万円 (2018年3月末)
売上高 連結3374億99百万円 (平成31年3月期)
従業員数 3,405名 (2019年3月末)
事業内容 エラストマー素材事業：合成ゴム、合成ラテックス、化成品
 高機能材料事業：高機能樹脂・部材、電子材料、エナジー材料、
 化学品、医療器材
 その他：RIM配合液・成形品、塗料等の販売など

事業所

本社 〒100-8246
 東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル
 TEL：03-3216-1772 FAX：03-3216-0501

大阪事務所 〒530-0004
 大阪府大阪市北区堂島浜2-1-9 古河大阪ビル西館4階
 TEL：06-4797-8220 FAX：06-4797-8225

名古屋事務所 〒460-0003
 愛知県名古屋市中区錦1丁目18番24号 いちご伏見ビル7階
 TEL：052-209-9145 FAX：052-209-9147

高岡工場 〒933-8516
 富山県高岡市荻布630
 TEL：0766-21-0252 FAX：0766-21-8201

川崎工場 〒210-9507
 神奈川県川崎市川崎区夜光1-2-1
 TEL：044-276-3700 FAX：044-276-3701

徳山工場 〒745-0023
 山口県周南市那智町2-1
 TEL：0834-21-8501 FAX：0834-21-8793

水島工場 〒711-8511
 岡山県倉敷市児島塩生字新浜2767-1
 TEL：086-475-0021 FAX：086-475-1169

総合開発センター 〒210-9507
 神奈川県川崎市川崎区夜光1-2-1
 TEL：044-276-3721 FAX：044-276-3720



本社



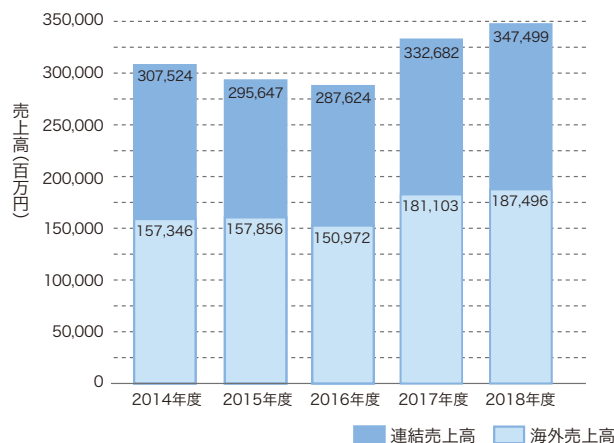
総合開発センター

上場市場 東京
主要株主 株主数：10,082名 (2019年3月末)

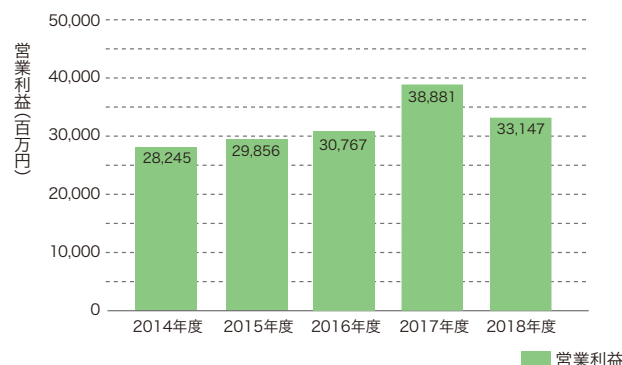
主要株主	持株数(千株)	持株比率(%)
横浜ゴム株式会社	22,682	10.38
株式会社みずほ銀行	9,600	4.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,481	4.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,745	4.00
全国共済農業協同組合連合会	8,200	3.75
朝日生命保険相互会社	7,679	3.51
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG(FE-AC)	6,674	3.05
旭化成株式会社	6,438	2.95
農林中央金庫	4,000	1.83
日本ゼオン取引先持株会	3,648	1.67

(注) 当社は自己株式18,577千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

連結売上高・海外売上高の推移



営業利益の推移





沿革

1950～

- 1950年 4月 合成樹脂の製造販売を目的として、日本ゼオン株式会社を資本金5百万円で設立。本社を東京都中央区銀座西7丁目3番地の日本軽金属(株)内に設置。
- 1951年 1月 B.F.グッドリッチ・ケミカル社と塩化ビニル樹脂製造に関する技術提携。
- 1952年 4月 蒲原工場(静岡県)が完成し、塩化ビニル樹脂生産開始。技術研究所を開設。
- 1953年 9月 高岡工場(富山県)が完成し、塩化ビニル樹脂生産開始。
- 1956年 11月 川崎工場(神奈川県)が完成し、日本で初めて合成ゴム生産開始。中央研究所開設。

1960～

- 1961年 9月 東京証券取引所に株式を上場、10月には大阪、名古屋にも上場。
- 1965年 6月 本社を東京都千代田区丸の内2-6-1に移転。
- 1965年 8月 徳山工場(山口県)が完成し、GPB法(自社技術によるブタジエン抽出技術)によるブタジエン及びSBRの生産開始。
- 1967年 3月 蒲原工場閉鎖。
- 1969年 8月 水島工場(岡山県)が完成し、塩化ビニル樹脂生産開始。

1970～

- 1970年 9月 B.F.グッドリッチ・ケミカル社が当社保有株をすべて日本側に譲渡。
- 1971年 11月 英文社名をGeonからZeonに変更。GPI(自社技術によるイソプレン抽出技術)設備が水島工場に完成し、IRの生産開始。
- 1973年 8月 C5石油樹脂の生産を水島工場で開始。
- 1978年 2月 NBRの生産を徳山工場で開始。

1980～

- 1980年 4月 合成香料の生産を水島工場で開始。
- 1982年 7月 電子材料事業に進出。
- 1984年 4月 水素化ニトリルゴム「ゼットポール(Zetpol®)」の生産を高岡工場で開始。
- 1985年 11月 全社品質管理でデミング賞実施賞を受賞。
- 12月 熱可塑性エラストマーSISの生産を水島工場で開始。
- 1986年 3月 重合法トナーの生産を川崎工場で開始。
- 8月 溶液重合SBRの生産を徳山工場で開始。
- 1989年 3月 英国BPケミカルズ社のNBR事業を買収。
- 9月 RIM事業に参入。
- 10月 B.F.グッドリッチ・ケミカル社の特殊ゴム部門を買収。

1990～

- 1990年 2月 補助人工心臓の製造承認を世界で初めて取得。
- 10月 医療器材総合工場が高岡工場内に完成。
- 11月 シクロオレフィンポリマー(COP)「ゼオネックス(ZEONEX®)」プラントが水島工場に完成。
- 1994年 7月 環境資材事業を本格展開開始。
- 10月 高岡・徳山工場がISO9002認証を取得、95年に川崎・水島工場も取得。
- 合併処理浄化槽生産設備が水島工場に完成。
- 1995年 7月 塩ビ事業を新第一塩ビ(株)へ移管。
- 1998年 6月 ゼオンケミカルズタイランド社の石油樹脂生産設備が完成。
- 1998年 9月 COP「ゼオノア(ZEONOR®)」を上市。
- 11月 高岡工場がISO14001認証を取得、99年に徳山・水島・川崎工場が取得。
- 12月 「ゼオローラ(ZEORORA®)」の生産設備が高岡工場に完成。
- 米国DSMコーポリマー社からNBR事業を買収。
- 1999年 9月 米国グッドイヤー社から特殊ゴム事業を買収。

2000～

- 2000年 3月 水島工場で塩ビ樹脂生産を打ち切り、塩ビ事業から撤退。
- 7月 創業50周年を契機に社章と英文社名を「ZEON CORPORATION」に変更。
- 光学フィルム製造工場が高岡工場内に完成。
- 2001年 12月 LCD用光学フィルム「ゼオノフィルム(ZeonorFilm®)」を上市。
- 2002年 10月 ゼオローラ開発でGSC賞環境大臣賞受賞。
- 2003年 3月 物流資材の製造・販売新会社を設立。
- 7月 RIMTEC株式会社を設立。
- 8月 重合法カラートナープラントを起工。
- 2004年 4月 COP製のLCD用拡散板工場を竣工。
- 中国・広州市のカーボンマスターバッチ新工場完成。
- 8月 新規低誘電率層間絶縁膜(Low-k)材料を開発。
- 10月 COPの生産能力を15,000トンへ増強。
- 2005年 2月 高岡で精密光学研究所およびゼオノフィルム第5棟竣工。
- 本社を現住所(東京都千代田区丸の内1-6-2)に移転。
- 3月 新規エーテル系溶剤シクロペンチルメチルエーテル(CPME)製造設備の新設および上市。
- 10月 米沢市に化学品研究棟竣工。
- 2006年 4月 研究開発センター 10号館完成。
- 5月 COP絶縁フィルムの開発でIEEE(電気電子学会)CPMT Young Awardを受賞。
- 12月 合成香料・リーフアルコール製造設備の能力増強。
- 2007年 8月 CPMEの開発とその工業化で2006年度有機合成化学協会賞受賞。
- 9月 光学フィルムで「第2回ものづくり日本大賞」受賞。
- 2008年 6月 富山県氷見市に光学フィルム新工場竣工。
- 2009年 1月 水島工場に統合生産センター竣工。
- (株)オプテスを吸収合併。

2010～

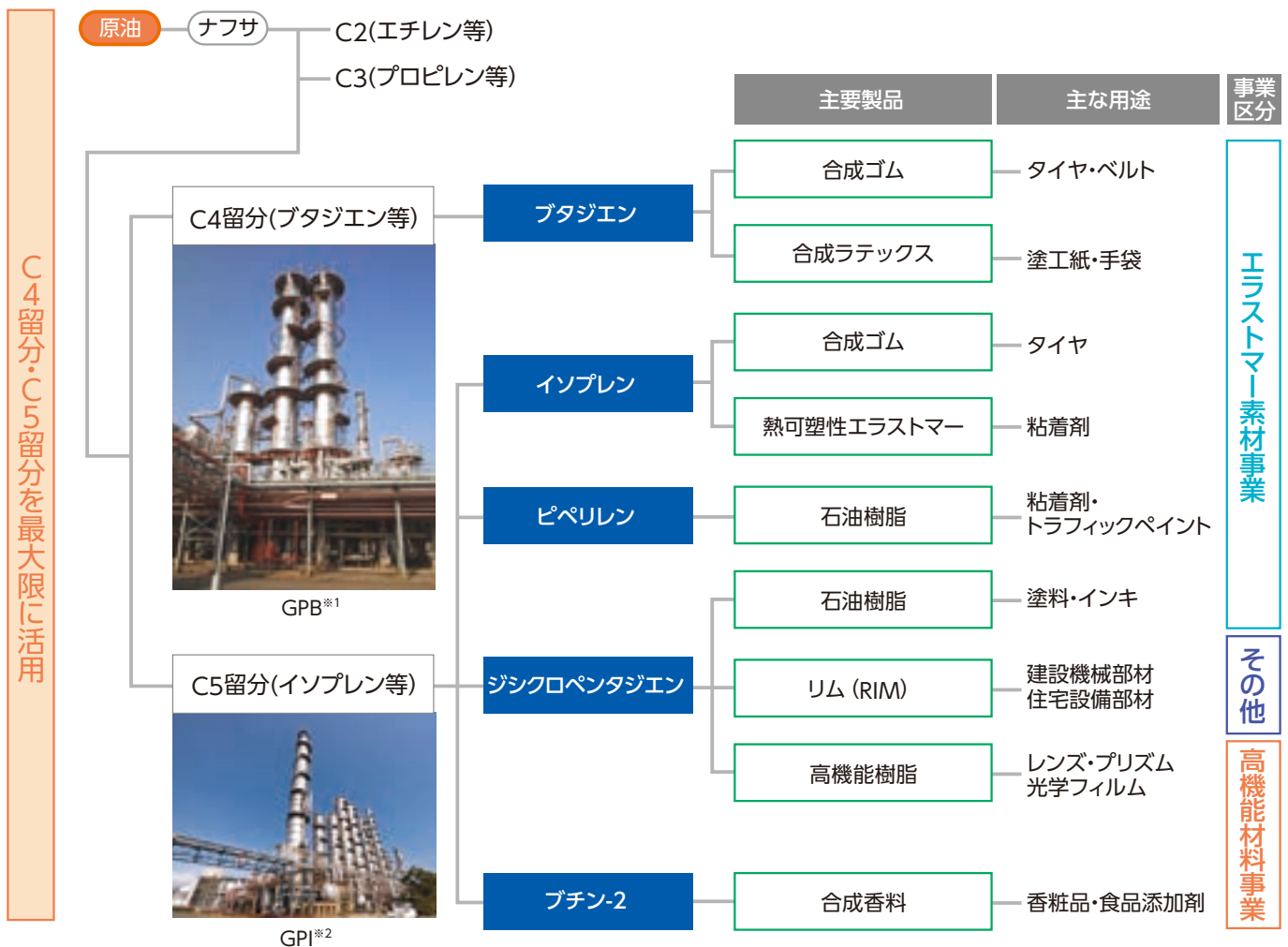
- 2010年 2月 大阪証券取引所の上場廃止を申請(平成22年3月に上場廃止)。
- 12月 ゼオンケミカルズシンガポール社をシンガポールに設立。
- 2011年 2月 ゼオンコリア(株)を韓国に設立。
- CPMEで「InformexUSA 2011」において Profiles in Sustainability Award(製品部門)を受賞。
- 7月 瑞翁(上海)管理有限公司を中国に設立。
- 10月 富山県氷見市に「斜め延伸位相差フィルム」新設備が完成。
- 2012年 2月 ゼオン マニュファクチャリング ベトナム社をベトナムに設立。
- 8月 川崎工場に新しい水素化NBR「Zetpol®」プラント竣工。
- (株)トウペを公開買付けにより子会社化。
- 2013年 3月 ゼオンケミカルズ・シンガポール社竣工。
- 2014年 4月 S-SBRの生産開始。
- 2015年 7月 ゼオンインディア社をインドに設立。
- ゼオン化成メキシコ社(メキシコ・サンルイスポトシ市)設立。
- 11月 徳山工場にカーボンナノチューブ製造工場を竣工。
- 2016年 4月 カーボンナノチューブ(CNT)の量産技術開発で、産業技術総合研究所(産総研)と文部科学大臣表彰・科学技術賞を受賞。
- 12月 CNTとゴム複合の高性能シート系熱界面材料の量産プラント竣工。
- 2017年 2月 産総研とCNT複合材料研究拠点を設立。
- 4月 住友化学株式会社との事業統合によるZSエラストマー株式会社が営業開始。
- 5月 非対称SISの開発が高分子学会賞(技術賞)を受賞。
- 8月 シンガポールにAsia Technical Support Laboratoryを開設。
- 9月 水島工場の石油樹脂製造施設に水添設備竣工。
- 10月 米国カルフォルニア州に高機能材料の現地販売会社 Zeon Speciality Materials Inc.を設立、営業開始。
- 2018年 8月 タイにアクリルゴムの製造・販売を行うゼオンケミカルアジア社を設立。
- 10月 福井県敦賀市に、光学フィルムの大型TV向け位相差フィルム製造ライン新規増設を決定。
- 2019年 2月 位相差フィルムの開発で大河内記念技術賞を受賞。
- 3月 健康経営優良法人2019(大規模法人部門)～ホワイト500の認定取得。



ゼオンならではのC4、C5総合利用から 世界に誇れる技術と製品が次々と誕生、ゼオンの得意領域です

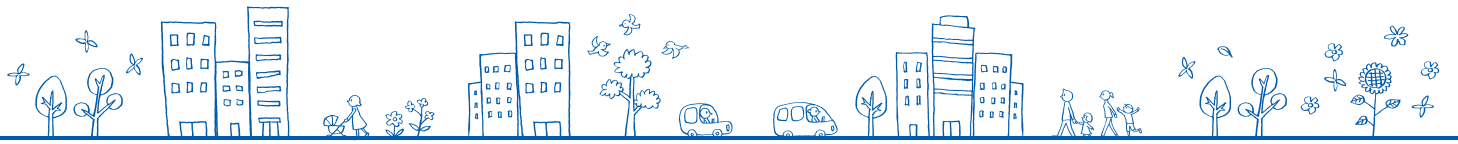
日本ゼオンには耐油性特殊合成ゴムをはじめ、世界で圧倒的な強みを発揮する得意領域が数々あります。ナフサから抽出されたC4留分、C5留分を原料に、世界でも例を見ないユニークな事業展開をしています。これらはたとえニッチであっても、世界一をめざして当社のコアコンピタンスが発揮される分野です。日本ゼオンは強いものをさらに強くする事業方針を貫き、社会にとって存在価値のある企業でありたいと願っています。

事業セグメント



※1 GPB :ゼオン・プロセス・オブ・ブタジエン。C4留分から高純度のブタジエンを抽出する、ゼオンの独自技術

※2 GPI :ゼオン・プロセス・オブ・イソプレン。C5留分からイソプレンをはじめとする高純度の有用成分を抽出する、ゼオンの独自技術



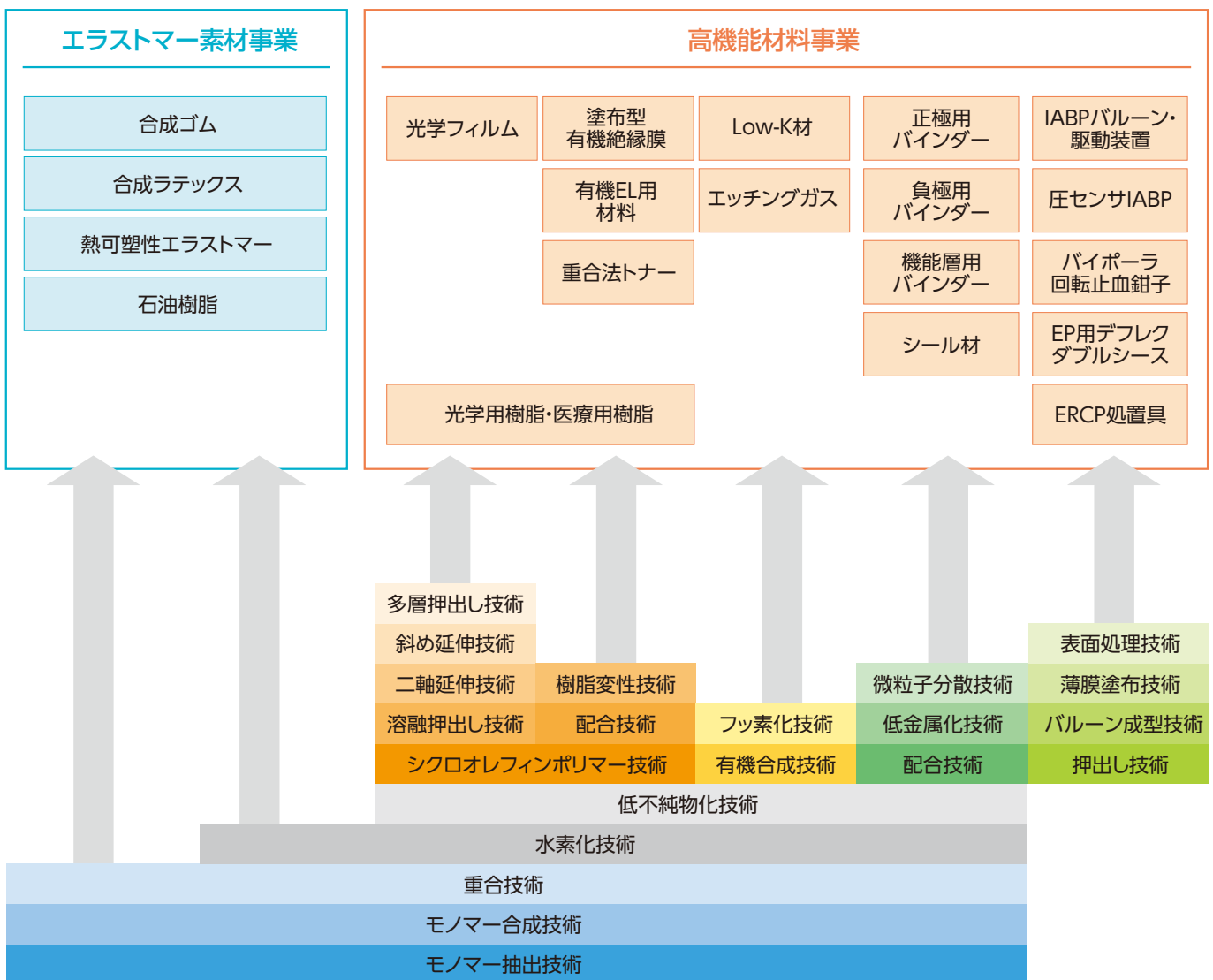
数々のコア技術から独創的な製品が誕生し続けます 未来を見据えた事業創出のベースは揺るぎません

日本ゼオンの技術や製品には、これから大きくはばたこうとする事業の芽がたくさん詰まっています。エラストマー、ポリマー微粒子設計など、源流から取り組んでいるコア技術に支えられているからこそ、今後の発展や拡大が期待される事業があります。

社会や暮らしにより密着した分野へ、さらに近未来のニーズに応える事業分野へ…。

次世代の日本ゼオンを担う新しい事業を創り出し続けます。

事業分野の要素技術と製品





生活と産業を支える事業ドメイン あらゆる分野で活躍しています

ゼオンの事業セグメントは、エラストマー素材事業と、高機能材料事業に大別されます。
エラストマー事業は、成長市場へのグローバルな対応と、実績を誇る強い事業を更に強化していく基本戦略です。
高機能材料事業は、重点分野の研究開発を推し進め、新規事業分野での用途拡大を目指します。

エラストマー素材事業

合成ゴム	溶液重合スチレンブタジエンゴム(S-SBR)溶液重合SBR Nipol® NSシリーズ(油展 非油展) 乳化重合スチレンブタジエンゴム(E-SBR) Nipol® (油展 非油展)	ブタジエンゴム(BR) Nipol® BR シリーズ イソプレンゴム(IR) Nipol® IR シリーズ	アクリロニトリルブタジエンゴム(NBR) Nipol® NBRシリーズ(極高ニトリル、 液状ニトリルゴム、粉末NBR、 三元共重合体NBR、ポリブレンド)	
	合成ラテックス	スチレンブタジエンラテックス	ポリブタジエンラテックス	アクリロニトリルブタジエン系ラテックス
化成品	脂肪酸系炭化水素樹脂 Quintone®100	脂環族系炭化水素樹脂 Quintone®1000	スチレンイソブレンブロックポリマー(SIS) Quintac®	

高機能材料事業

高機能樹脂	光学用樹脂・医療用樹脂 ZEONEX®(ゼオネックス)	透明エンプラ ZEONOR®(ゼオノア)		
高機能部材	プラスチック成形品 ZEONEX®を材料とした各種成形品	光学フィルム ZeonorFilm®		
電子材料	ディスプレイ向け塗布型絶縁膜、保護膜 ZEOCOAT®	電子部品製造用リフトオフレジスト ZPNシリーズ	超高解像度電子線レジスト ZEPシリーズ	ドライエッチングガス ZEORORA® ZFL-58

エネルギー材料

エネルギー材料	リチウムイオン電池用材料 正極用バインダー、負極用バインダー、機能層用バインダー、シール材料
---------	---

化学品

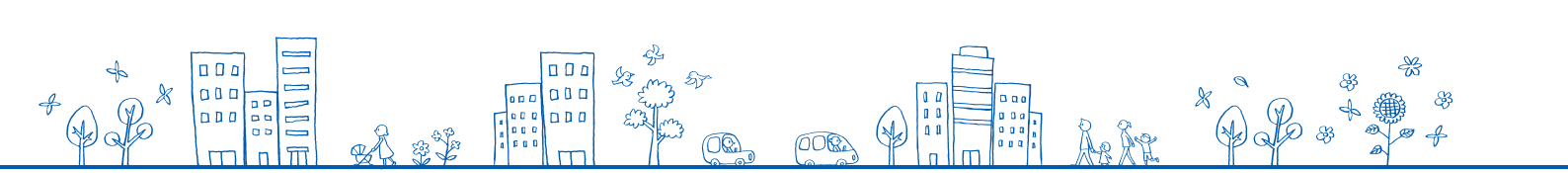
合成香料 グリーン系香料 ジャスミン系香料 ラクトン系香料 各種香料	特殊化学品(医薬薬中間体、工業薬品) 炭化水素類 アルコール類 ケトン類、ハロゲン化合物類 複素環化合物 フッ素化合物 その他
特殊溶剤・洗浄剤・ウレタン用発泡剤 シクロペンタノン、Cyclopentyl methyl ether(CPME)、 ZEORORA-H®, ゼオンソルブ®HP(シクロペンタン)	

メディカルデバイス

循環器系分野 IABP駆動装置 血管用治療FFRデバイス	消化器系分野 胆道結石除去用カテーテル 細系胆管ステント、クラッシャーカテーテル	
------------------------------------	--	--

重合法トナー

重合法トナー ゼオグラビュール®	
---------------------	--



水島工場 統合生産センター (IPC)



IPCロビー

高ニトリル、中高ニトリル、中ニトリル

エピクロロヒドリンゴム (ECO)
Hydrin®
アクリルゴム (ACM)
Nipol® AR

水素化ニトリルゴム (HNBR)
Zetpol® (極高ニトリル、高ニトリル、中高ニトリル、耐寒タイプ)
Zetpol® PB (ポリブレンド) Zetpol® (特殊架橋タイプ)
Zetpol® ZSC (ポリマーアロイ) Zetpol® Latex (HNBRラテックス)

ポリエーテル系制電剤
ZEOSPAN®



ビニルピリジン共重合ラテックス

アクリルラテックス



その他の事業



CNT事業

スーパーグロスカーボンナノチューブ
ZEONANO®

RIM事業

RIM配合液、RIM成形品
PENTAM® METTON®

(酸化膜エッチングガス)



その他

各種塗料
建築塗料 外装塗料





合成ゴム、合成ラテックス、化成品の3分野で構成されています 強固な基盤事業としてゼオンを支えています

合成ゴム



グローバルな事業展開で 生産供給体制を確立 自動車産業に次々と新しい製品を お届けしています。

ゼオンの合成ゴムの歴史は、日本の合成ゴムの歴史と重なります。わが国で初めて合成ゴムを生産開始して以来50余年。世界に先駆けて開発した水素化ニトリルゴムは「ゼットポール(Zetpol®)」のブランドで、特殊合成ゴムの代名詞としてタイミングベルトや油圧機器周りの材料として大活躍しています。また、低燃費タイヤ用の合成ゴムS-SBRは、燃費の削減に寄与するタイヤ材料として注目を浴び、旺盛な需要に支えられ、徳山工場に続くシンガポールの工場を建設。今、第二期のプラントも完成し、S-SBRの二拠点を併せた生産量が年間10万トンを超えるに至りました。

これらの安定・安全生産には、ゼオンの誇る生産革新システムで対応。次世代のエラストマー開発では、環境負荷低減につながる自動車材料としてバイオヒドリンゴムなどの提供など、次世代に向けた研究開発を積極的に推進しています。“特殊合成ゴムのゼオン”から“合成ゴムの世界のリーダー”へ。合成ゴムはゼオンの強固な基盤事業です。



自動車用ゴム部品



合成ゴム



自動車エンジン周りに使われる特殊合成ゴム



合成ラテックス



**生活に密着した用途で大活躍
合成ラテックスは環境を重視した事業展開で、
新用途の開発を進めています。**

合成ラテックスの用途は大きな広がりを見せております。主用途である手袋用ラテックスの市場は年率5-7%の確実な成長を見せており、そこに使われるゼオンのNBRラテックスも順調に推移しています。そのほかには、塗工・含浸などの紙加工用途、ABS樹脂用、不織布・繊維用、タイヤコード用、化粧用パフなどの幅広い用途で活躍しています。



ラテックス



NBRラテックスが使われる手袋

化成品

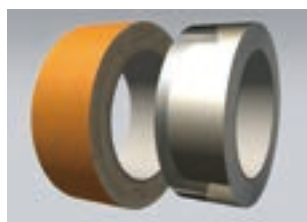


**C5留分の総合利用で、
独創的な製品群が誕生
生産拠点も、グローバルな展開を図っています。**

日本ゼオンの独創的な技術の柱であるGPI法。このC5留分の総合利用では世界で唯一と称される水島工場。ゼオンの化成品事業はこの水島工場から生まれる製品群で構成されています。粘着テープや接着剤、トラフィックペイントなどに使用される石油樹脂「クイントン (Quintone®)」に加え、熱可塑性エラストマーSIS「クインタック (Quintac®)」をこの分野での世界一に育てようとしています。新たに開発された非対称SISは、紙おむつのエラストックフィルムなど新規用途への展開が期待されています。



「Quintac®」が使われる紙おむツ



「Quintone®」「Quintac®」が使われる
粘着テープ類



Quintone®



高分子設計や加工の技術力によって 高付加価値を有した材料・部材です

高機能樹脂



**C5の独創的な技術から誕生した
高機能樹脂「ZEONEX®」「ZEONOR®」。
高付加価値な製品は
ゼオンの未来の担い手です。**

1990年、高機能樹脂事業への本格参入から四半世紀、「ゼオネックス(ZEONEX®)」は名実ともに光学樹脂のトップブランドとして成長してきました。今では光学特性を活かしたレンズ、プリズム等の用途に加え、低不純物、低吸水性、低吸着性という特性を活かし、シリンジ、バイアル等の医療用途にまで、用途が広がっています。

**ZEONOR®は光学フィルムに姿を変え、
私たちの生活を彩ります。**

「ゼオノア(ZEONOR®)」は樹脂だけでなく、光学フィルム「ゼオノアフィルム(ZeonorFilm®)」として販売しています。ゼオン独自の技術で成形された「ゼオノアフィルム(ZeonorFilm®)」は、大型液晶テレビを始め、タブレット、スマートフォンまで様々な表示機器に採用されています。

ゼオンでは、ポリマー設計から加工製品まで一貫した設計思想を持ち、研究所と生産工場を直結して高い技術力を維持することで次世代の表示機器に対応した製品を次々と生み出しています。



“ゼオネックス”が使われるカメラ、光学機器用レンズ・プリズム



シリンジ



スマートフォン(レンズ、フィルム)



ZEONEX®



ZeonorFilm®



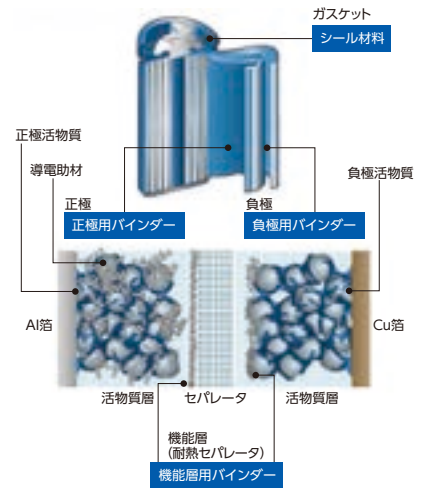
エネルギー材料



リチウム電池

**これから大きく伸びる電池市場のエースです。
製品ラインナップの拡充で、
新しい市場へチャレンジしています。**

スマートフォンに代表される携帯機器向けのリチウムイオン電池が大きな成長を続けています。ゼオンのバインダーは高性能で高い安全性を誇り、負極用バインダーは世界一のシェアといわれています。正極用バインダー、機能性バインダーなどの製品群も併せて投入していきます。将来的には自動車向けのリチウムイオン電池の採用が進むことにより、エネルギー材料事業も大きな期待が寄せられています。



化学品



**充実した生活に、より一層の演出を。
合成香料を中心に、工業薬品、医農薬中間体、
洗浄剤など、多岐にわたる事業展開です。**

化学品事業の柱は、生活に潤いを与える合成香料。食品用に、香粧品用にと、私たちの生活に欠かせない重要な役割を担っています。この合成香料を含め、工業薬品、医農薬原料および中間体、工業薬品、洗浄剤などいずれもC5留分の総合利用から誕生した製品群です。中でも環境負荷低減に大きく貢献するフロン代替の洗浄剤「ゼオロラH (ZEORORA® H)」は、世界から沢山の高い評価をいただいています。



ジャスミン系の代表的合成香料で、シャンプー・リンス・石鹸等に使用されます。



メディカルデバイス

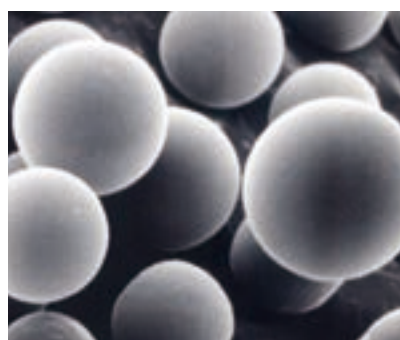


バルーンカテーテル

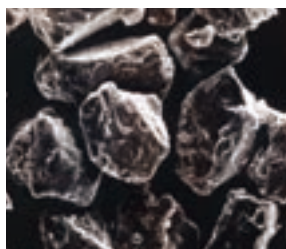
「健康」であるためには、力強いサポートが必要です。メディカル部門は製販技一体となって、そのサポートに取り組んでいます。

消化器系、循環器系を中心に、ゼオンのメディカル部門は事業の拡大に取り組んできました。消化器系の製品としては、石採り (ERCP) の石流しオフセットバルーンやクラッシャーカテーテル、胆道系では細径胆管ステント。また、循環器系製品としてはIABPの駆動装置、新製品では血管内治療のFFRデバイスがあります。この光センサー型FFRデバイスは成長が期待されるFFR市場でシェアアップを目指していきます。メディカル部門は工場と研究所が同一敷地内にあり、ユーザーニーズを先取りし、新製品設計にいち早くとりいれるなど事業の迅速な展開を図っています。

重合法トナー



重合法トナー



粉碎法トナー

合成ゴム・合成ラテックスで培った高度なポリマー設計技術と微粒子制御技術で、工業化に成功しました。

ゼオンが世界で初めて工業化に成功した重合法トナー「ゼオグラビュール®」は、ゼオンのポリマー設計技術と、微粒子制御技術とによって誕生した、均一で真球状の画期的なトナーです。プリンタの高画質化への貢献はもちろん、低温定着性による省エネルギー化にも大きく寄与しております。

電子材料事業



ますます発展を続ける半導体産業に、よりの確に、より迅速に。

ゼオンでは、IoTに貢献する最先端材料として半導体向けを中心に、絶縁材料、エッチングガス、レジストを提供しています。



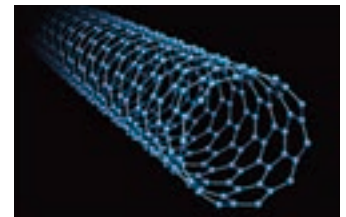
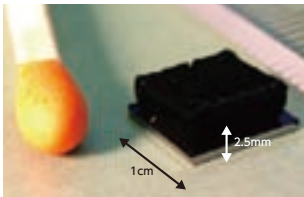
CNT事業をはじめ、RIM、塗料、建材など 主にグループ企業で展開される事業群です

CNT事業



**夢の素材「カーボンナノチューブ」量産化を実現。
科学技術の水準を向上させる
次世代へのイノベーションのはじまりです。**

2015年、徳山工場に世界で初のスーパーグロスカーボンナノチューブの量産化工場が完成しました。NEDOプロジェクト、産業技術総合研究所との共同研究を経て、いよいよ次世代の素材のリーダーの登場です。多くの優れた特性を有し、既存事業では、ゴム・樹脂との複合化による新規材料、新しい用途としては高耐熱性ゴム、高熱伝導複合材料などの展開が待たれます。平成28年度の「科学技術分野の文部科学大臣表彰・科学技術賞」を受賞しております。



カーボンナノチューブの構造を示した
拡大イメージ図

RIM事業



**ジシクロペンタジエンを原料とした
RIM(反応射出成形)用の配合液を
製造・販売しています。**

C5留分より抽出したジシクロペンタジエンを主原料とし、RIM (Reaction Injection Molding=反応射出成形)方式により成形される熱硬化性樹脂の配合液の製造事業です。原料配合液は、金型内で重合反応と躯体成型を同時に行い、成型された樹脂は強靱で、家庭用合併処理浄化槽やユニットバス、浴槽床材、トラックのバンパー等大型成形に適しています。

その他の事業

■ 塗料事業

塗料メーカーのトウペと2013年に事業統合をいたしました。
ユーザーニーズに合わせた最適な塗料を開発し販売しています。

■ 建材事業

ゼオン化成では、防音材や外壁材などの各種建築材料を
製造・販売しています。



独創的技術を駆使した研究開発から、新製品が次々と開花 事業戦略に直結し、次世代へのイノベーションの深耕が続いています



総合開発センター8号館

総合開発センターは川崎地区にある研究所と、高岡、水島、徳山の各工場にある研究所で構成されています。そして米国ZCLP社およびベトナムの研究所など、国内外グループ企業ともネットワークを構築し、日々、研究開発に取り組んでいます。また、産官学との共同研究を中心に、各研究機関、学会等への積極的な取り組みにより、人的交流を含め、次世代の新事業戦略構築への橋頭を築いています。

この研究体制から誕生した新製品・新技術は、低燃費タイヤ用の合成ゴムS-SBRをはじめ、Zetpol®の高耐熱性の新製品、環境負荷低減につながるバイオ合成ヒドリソム、液晶テレビ用の光学フィルム、夢の素材と称される単層カーボンナノチューブの世界初の量産化への取り組みなど、次々と市場への参入を果たし、業界の大きな注目を集めています。

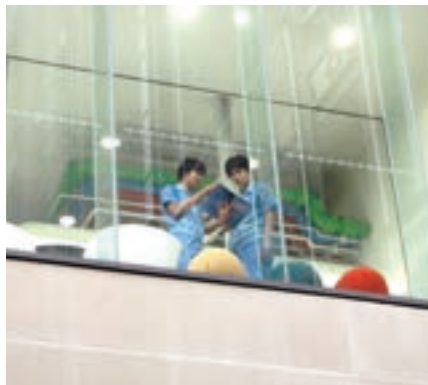
モノマー抽出、合成技術をベースに重合技術、水素化技術、低不純物化技術などの要素技術から事業領域に合わせたさまざまな技術が新規材料を誕生させてきました。これからもゼオングループの研究開発の総合力を高め、より新しいイノベーションの創造に向けて邁進し続けます。





7号館 生産技術研究所

総合開発センター



10号館

- 基盤技術研究所
- 新材料開発研究所
- CNT研究所
- 機能性微粒子研究所
- エラストマー研究所
- 化成品研究室(水島)
- 高機能化学品研究所
- 複合材料研究室
- 機能性材料研究所
- 高機能樹脂研究所
- 精密光学研究所(高岡)
- メディカル研究所(高岡)
- 加工品開発研究所
- 生産技術研究所



生産革新手法を用いた ゆるぎない「品質」「信頼」を世界へお届けしています



徳山工場



工場所在地 山口県周南市那智町2-1
敷地面積 243,750㎡
操業開始 1965年8月

〈主要製品〉
合成ゴム、合成ラテックス、
重合法トナー、単層CNT、
ブタジエン（モノマー）

高岡工場



工場所在地 富山県高岡市荻布630
敷地面積 376,000㎡
操業開始 1956年11月

〈主要製品〉
合成ゴム、電子材料

高岡工場

川崎工場



工場所在地 神奈川県川崎市川崎区夜光1-2-1
敷地面積 75,511㎡
操業開始 1959年7月

〈主要製品〉
合成ゴム、合成ラテックス

徳山工場

水島工場

水島工場



工場所在地 岡山県倉敷市児島塩生字新浜2767-1
敷地面積 269,095㎡
操業開始 1969年7月

〈主要製品〉
合成ゴム、熱可塑性エラストマー、石油樹脂、
シクロオレフィンポリマー、合成香料、
ブタジエン（モノマー）、イソプレン（モノマー）



総合開発センター



高岡工場 (富山県高岡市)

塩化ビニル樹脂の量産工場として操業を開始し、その需要拡大を支える重要な役割を果たしてきました。その後、経営環境の変化に対応し塩化ビニル樹脂の生産から撤退し、現在は水素化ニトリルゴム、電子材料等の高付加価値製品の製造工場として活躍。また、光学フィルム製造工場、医療器材の製造工場も有し、高機能材料事業の先端工場として稼働を続けています。



川崎工場 (神奈川県川崎市)

総合開発センター (神奈川県川崎市)

わが国で初めて合成ゴムの量産を開始。以来、50年以上にわたり自動車のベルト、ホースなどに使用される耐油性、耐熱性に優れた特殊合成ゴムやゴム手袋や化粧用パフにも使われる合成ラテックスを製造し、現在では年産10万トンを超える生産規模に成長しています。品質はもちろん、環境保護、安全も重視した首都圏の主力工場として活躍しています。また、敷地内に隣接して総合開発センターがあります。



徳山工場 (山口県周南市)

GPB法によるブタジエンモノマーを活用した合成ゴムの主力工場として誕生。その後、特殊合成ゴム、合成ラテックスの設備を完成、1995年に重合法トナーの製造を開始しました。現在では、タイヤ用や樹脂改質用汎用ゴム、自動車部品用特殊ゴム、紙加工・手袋用・樹脂改質ラテックス及び重合法トナーを生産しています。生産した合成ゴムの多くは欧米、アジアなどに向けて輸出。徳山工場はゼオンの素材事業の中核工場として、グローバルな活動を展開しています。また、単層カーボンナノチューブの世界初の量産化プラントを工場内に竣工。次世代素材の量産化に大きな期待が寄せられています。



水島工場 (岡山県倉敷市)

倉敷市の水島臨海コンビナートの一角に、汎用塩化ビニル樹脂の生産拠点として誕生。その後、ブタジエンモノマー抽出プラント、イソプレンモノマー抽出プラント、さらにはイソプレンゴム、合成香料や高機能樹脂などのC5関連製品を生産しています。自社開発技術の《GPI法》の成功により、世界でも類を見ないC5事業の総合利用生産拠点として拡大・発展しています。また、ダイセル方式による「生産革新システム」を導入。その統合センター (IPC) は、わが国化学業界における革新的手法として、たくさんの工場見学者を受け入れています。



情報共有から価値共有へ ビジョンを共に歩むパートナー企業



ゼオンメディカル株式会社 高岡工場



株式会社オプテス 高岡製造所



株式会社TFC、株式会社オプテス 敦賀製造所



ゼオンケミカルズ米沢株式会社



株式会社オプテス 氷見製造所





1 株式会社オプテス

富山県高岡市二上新422-1
TEL:0766-32-1590 FAX:0766-32-1591
北陸工場 氷見製造所 富山県氷見市上田子
高岡製造所 富山県高岡市二上新422-1
敦賀製造所 福井県敦賀市助生野35

- 光学フィルム・光学機器用部品の製造、金型の設計・製作

2 ゼオンエフアンドビー株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)
TEL:03-3216-1410 FAX:03-3216-1421

- ファクタリング業、損害保険代理業、不動産取引業個人ローン
人事、総務、経理業務の受託

3 ゼオン化成株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)
TEL:03-5208-5111 FAX:03-5208-5290

- プラスチック製品・包装資材等の製造・販売

4 ゼオンケミカルズ米沢株式会社

山形県米沢市八幡原3-446-13
TEL:0238-29-0055 FAX:0238-29-0053

- 香料の製造加工販売、RIM配合液の製造・販売

5 ゼオンナノテクノロジー株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)
TEL:03-3216-1766 FAX:03-3216-1767

- カーボンナノチューブ、カーボンナノチューブに関連する製品の加工
及び販売

6 ゼオンノース株式会社

富山県高岡市江尻351
TEL:0766-25-1111 FAX:0766-25-4059

- 各種設備の請負・設計・施工・管理、工業用資材・機材の販売、
石油製品の仕入・販売

7 ゼオンポリミクス株式会社

滋賀県大津市石居1-11-1
TEL:077-546-1223 FAX:077-546-0338

- 合成ゴム(カーボンマスターバッチゴム)の精錬加工

8 ゼオンメディカル株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル11階)
TEL:03-3216-1265 FAX:03-3216-1269

- 医療機器の製造・販売

9 ゼオン山口株式会社

山口県周南市那智町2-1
TEL:0834-21-8482 FAX:0834-21-8663

- 土木建築資材・包装資材・各種設備の売買、各種工事の設計・施工・請負、
環境分析

10 株式会社トウベ

大阪府堺市西区築港新町1-5-11
TEL:072-5243-6411 FAX:072-243-6415

- 塗料、高機能材料の製造販売

11 RIMTEC株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)
TEL:03-5220-8551 FAX:03-5220-8584

- RIM成形品や配合液の製造・加工・販売

12 東京材料株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)
TEL:03-5219-2171 FAX:03-5219-2201

- 各種化学商品等の仕入販売

13 株式会社TFC

福井県敦賀市助生野34-23-2
TEL:0770-21-1711 FAX:0770-21-1775

- 光学フィルム等の製造

14 ZSエラストマー株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)
TEL:03-3216-0620 FAX:03-3216-0629

- S-SBRの販売・研究開発

15 岡山ブタジエン株式会社

東京都中央区八重洲1-4-21(共同ビル)
TEL:03-3278-0721 FAX:03-3278-0722

- ブタジエンモノマーの製造・販売

16 ジスインフォテクノ株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2(新丸の内センタービル)
TEL:03-3216-6500 FAX:03-3216-6534

- 情報処理システムに関するコンサルティング他
コンピュータ及びOA機器の販売保守

17 ゼオンオプトバイオラボ株式会社

栃木県佐野市小中町234番地1
TEL:0283-23-7061

- COPを使用した樹脂製マイクロ流路チップなどの試作品成形の受託事業



国境を超えてひろがる ゼオンのグローバルネットワーク



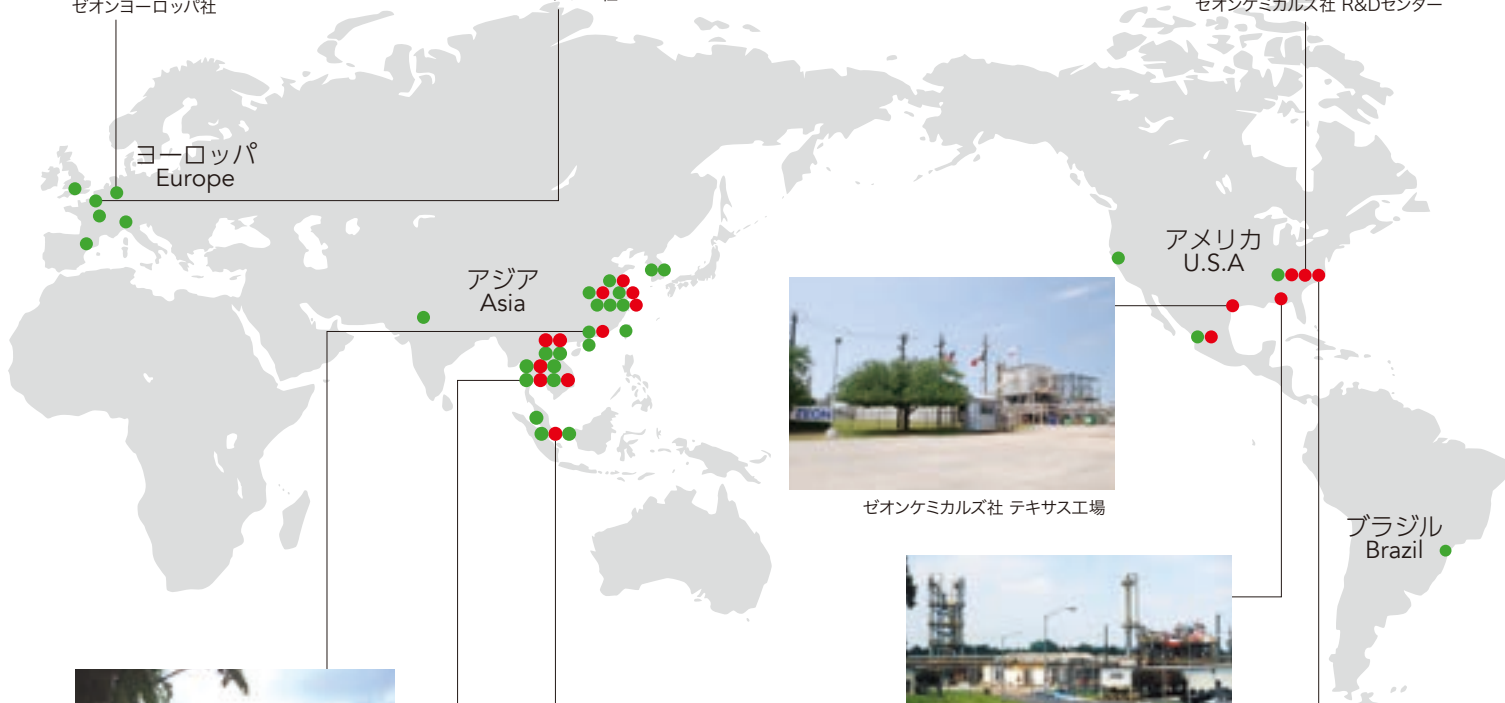
ゼオンヨーロッパ社



テレン社



ゼオンケミカルズ社 R&Dセンター



ゼオンケミカルズ社 テキサス工場



ゼオンケミカルズ社 ミシシッピー工場



瑞翁化工(広州)有限公司



ゼオンケミカルズ シンガポール社



ゼオンケミカルズ タイランド社



ゼオンケミカルズ社 ケンタッキー工場

● 販売拠点
● 工場・研究所



ヨーロッパ

ゼオンヨーロッパ社 ●

Zeon Europe GmbH
Hansaallee 249, 40549 Dusseldorf, Germany
TEL: +49-211-52670 FAX: +49-211-5267160

フランス事務所 ●

Zeon Europe GmbH - Branch in France
c/o Sofradec 153, Boulevard Hausmann 75008 Paris,
France
TEL: +49-211-5267-145

スペイン事務所 ●

Zeon Europe GmbH - Branch in Spain
C/Beethoven, 15, 4º08021 Barcelona, Spain
TEL: +34-93-183-87-08 FAX: +34-93-183-87-58

イタリア事務所 ●

Zeon Europe GmbH - sede secondaria in Italia
Via Mauro Macchi, 27, 20124 Milano, Italia
TEL: +39-02-36680101 FAX: +39-02-36680124

イギリス事務所 ●

Zeon Europe GmbH-Branch in U.K.
Scott Court, Unit 2A, Ocean Way, Cardiff, CF24 5HF,
United Kingdom
TEL: +44-1446-725000 FAX: +44-1446-747988

テレン社 ●

Telene S.A.S.
2, rue Marie Curie - 59910 Bondues, France
TEL: +33-3-20-69-57-10 FAX: +33-3-20-69-57-11

米国・中南米

ゼオンケミカルズ社 ●●

Zeon Chemicals L.P.
4111 Bells Lane, Louisville, Kentucky 40211, U.S.A.
TEL: +1-800-735-3388 FAX: +1-502-775-2055
TEL: +1-502-775-2000

R&Dセンター ●

R&D Center
4111 Bells Lane, Louisville, Kentucky 40211, U.S.A.
TEL: +1-502-775-7765 FAX: +1-502-775-7783

ケンタッキー工場 ●

Kentucky Plant
4100 Bells Lane, Louisville, Kentucky 40211, U.S.A.
TEL: +1-502-775-7600 FAX: +1-502-775-7614

ミシシッピー工場 ●

Mississippi Plant
1301 West Seventh Street, Hattiesburg, Mississippi 39401, U.S.A.
TEL: +1-601-583-6020 FAX: +1-601-583-6032

テキサス工場 ●

Texas Plant
11235 Choate Road, Pasadena, Texas 77507, U.S.A.
TEL: +1-281-474-9693 FAX: +1-281-474-0966

ゼオンブラジル社 ●

Zeon do Brasil Ltda
Rua Arandu, 1544, Sao Paulo SP, Brazil
TEL: +55-11-5501-2120 FAX: +55-11-5501-2122

ゼオン化成メキシコ社 ●●

Zeon Kasei Mexico S.A. de C.V.
Avenida Santiago Sur 100, Los Jassos, San Luis Potosi,
San Luis Potosi, MEXICO, C.P.78420
TEL: +52-1-444-478-5400 FAX: +52-1-444-478-5450

ゼオンスペシャリティマテリアルズ社 ●

Zeon Specialty Materials Inc.
1731 Technology Drive, Suite 595, San Jose,
CA95110, U.S.A.
TEL: +1-408-641-7889 FAX: +1-408-516-9382

アジア

ゼオン マニュファクチャリング ベトナム社 ●●

Zeon Manufacturing Vietnam Co., Ltd.
Ln.0109, Road No.10, VSIP Hai Phong Township, Industrial and Service Park,
Dinh Vu - Cat Hai Economic Zone, Thuy Nguyen District, Hai Phong City, Vietnam
TEL: +84-225-3797-027 FAX: +84-225-3797-028

ゼオン リサーチ ベトナム社 ●

Zeon Research Vietnam Co., Ltd.
6th Floor, Building 85 Nguyen Du Str., Hai Ba Trung District, Hanoi, Vietnam 100000
TEL: +84-4-3632-0557 FAX: +84-4-3632-0557

アジア

瑞翁(上海)管理有限公司 ●

中華人民共和国(郵便番号200235)上海市徐匯区中山西路1600号宏匯國際廣場1502室
TEL: +86-21-6167-5776 FAX: +86-21-6040-7258

瑞翁貿易(上海)有限公司 ●

中華人民共和国(郵便番号200235)上海市徐匯区中山西路1600号宏匯國際廣場1501室
TEL: +86-21-6040-7255 FAX: +86-21-6040-7258

瑞翁化工(上海)有限公司 ●●

中華人民共和国(郵便番号201108)上海市閔行区辛庄工業区申南路380号
TEL: +86-21-64896160 FAX: +86-21-64420569

瑞翁化工(広州)有限公司 ●●

中華人民共和国(郵便番号511356)広州経済技術開発区永和経済区井泉一路一号
TEL: +86-20-3222-1171 FAX: +86-20-3222-1820

瑞竹化工(上海)有限公司 ●●

中華人民共和国(郵便番号201108)上海市閔行区辛庄工業区申南路380号

蘇州瑞紅電子化学品有限公司 ●●

中華人民共和国江蘇省蘇州市吳中区経済開發区民豊路501号
TEL: +86-512-6921-7666 FAX: +86-512-6921-7555

瑞翁化成塑料(常熟)有限公司 ●●

中国江蘇省常熟市東南經濟開發区黄浦江路96号
TEL: +86-512-5235-7000 FAX: +86-512-5235-7308

瑞翁(広州)医療器械有限公司 ●

中華人民共和国(郵便番号510620)広東省広州市天河区体育東路138号金利来数码網絡大廈1706A室
TEL: +86-20-2283-6788 FAX: +86-20-2283-6789

ゼオンコリア株式会社 ●

Zeon Korea Co., Ltd.
No.403, 4Fl, 36, Teheran-ro 87-gil, Gangnam-gu, Seoul, 06164, Korea(City Air Tower, Samseong-dong)
TEL: +82-2-539-8565 FAX: +82-2-539-5190

済新株式会社 ●

No.502 CALT B/D (City Airport)22, Teheran-ro 87-gil, Gangnam-gu, Seoul, 06164, Korea
TEL: +82-2-761-7030 FAX: +82-2-786-7221

泉瑞股份有限公司 ●

3rd Fl. 266, Sec. 1, Wen Hwa 2 Road, Linkou Dist., New Taipei City 24448, Taiwan, R.O.C
TEL: +886-2-2609-2156 FAX: +886-2-2600-6413

ゼオンケミカルズ シンガポール社 ●●

Zeon Chemicals Singapore Pte. Ltd.
100 Banyan Drive, Jurong Island, Singapore 627571
TEL: +65-6933-4400 FAX: +65-6933-4413

ゼオンアジア株式会社 ●

Zeon Asia Pte. Ltd.
331 North Bridge Road, #20-01/02, Odeon Towers, Singapore 188720
TEL: +65-6332-2338 FAX: +65-6332-2339

ゼオンアジア マレーシア社 ●

Zeon Asia Malaysia Sdn. Bhd.
Unit 208,Block B,Phileo Damansara 2,No15,Jalan16/11, Off Jalan Damansara, 46350
Petaling Jaya Selangor Malaysia.
TEL: +603-7956-7069 FAX: +603-7957-1758

ゼオン インディア社 ●

Zeon India Private Limited
Time Tower, Unit No.507, Sector-28, M.G Road, Gurgaon, Haryana, India 122002
TEL: +91-124-4229461 FAX: +91-124-4229462

アジア技術サポートラボラトリー ●

Asia Technical Support Laboratory
61 Science Park Road, #05-09/10 The Galen, Singapore Science Park 2, Singapore 117525
TEL: +65-6266-7631 FAX: +65-6266-7712

ゼオンケミカルズ タイランド社 ●●

Zeon Chemicals (Thailand) Co., Ltd.
3 Soi G-14, Pakorn-Songkhro Road, Tambol Huaypong, Amphur Muangrayong,
Rayong 21150, Thailand
TEL: +66-3-868-5973 ~ 5 FAX: +66-3-868-5972

ゼオンケミカルズアジア社 ●●

Zeon Chemicals Asia Co., Ltd.

ゼオン アドバンスド ポリミクス社 ●●

Zeon Advanced Polymix Co., Ltd.
111/2 Soi Nikom 13, Moo 2 T.Makhamkhoo, Nikompattana District Rayong 21180, Thailand
TEL: +66-38-893-565 FAX: +66-38-893-569

バンコク事務所 ●

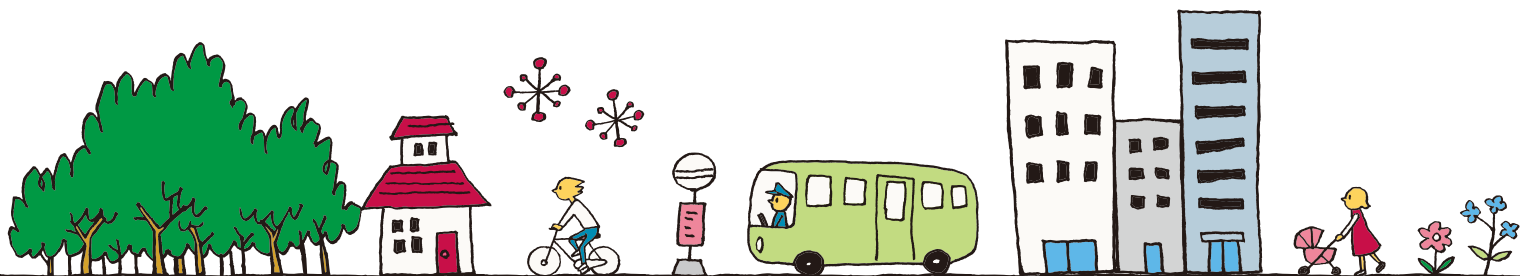
Sales Office
591 UBCCI BLDG, Office No.2206, 22thFL, Sukhumvit 33rd,Klongton Nua, Wattana,
Bangkok 10110 Thailand
TEL: +66-2-261-0175 FAX: +66-2-261-0172

日本ゼオン株式会社

〒100-8246 東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル

TEL : 03-3216-1772 FAX : 03-3216-0501

<http://www.zeon.co.jp>



●本カタログに使用している写真およびイラストについては使用例ではなく、用途例を示したものです。



July 2019
0719010(MK-MB)
187.05-117-0064